



週間情報



No.2839

発行日 平成28年10月11日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成28年秋の火災予防運動用ポスターの配布

一般財団法人全国消防協会では、秋の火災予防運動を迎えるにあたり、平成28年度の火災予防等広報事業の一環といたしまして、秋の火災予防運動用ポスターを作成しました。

各消防本部（局）には、平成28年10月14日（金）に発送しますので、ご活用ください。

一般財団法人全国消防協会



消防本部の動き

行事

◆ 消防ふれあいフェスティバル in 小諸

佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部小諸消防署では、平成28年9月19日（月）、「消防ふれあいフェスティバル in 小諸」を開催しました。

当日は、台風16号の影響を受け、あいにくの天候でしたが、約900名の来場者があり、放水体験や消防車乗車体験をはじめとする各種体験コーナー、御嶽山噴火災害、東日本大震災での緊急消防援助隊の活動写真の展示などが行われました。

オープニングでは、小諸市内にある動物の保護・愛護を目的とした長野県動物愛護センター「ハローアニマル」からセラピー犬として活躍している「元気」に一日消防署長を委嘱し、「元気」が見守るなか、フェスティバルが開催されました。

地域に信頼される消防をモットーに、地域との交流を通して更なる防火、防災意識の高揚を図ることができました。



【フェスティバルの様子】

◆ 女性一日消防体験を実施

西春日井広域事務組合消防本部（愛知）

西春日井広域事務組合消防本部では、平成28年9月21日（水）、西消防署において西春日井危険物安全協会関係者に対して、女性一日消防体験を実施しました。

当協会は、会員事業所数158事業所で、清須市、北名古屋及び豊山町地内で活動をしている団体です。その会員事業所の女性職員を一日消防士に任命し、消防署の仕事を体験してもらい、職場及び家庭での防災防火の意識及び知識の向上を図ることを目的として昨年から開催し、今回で2回目の開催となります。

放水訓練、救助訓練、救急訓練及び防災防火の講話などがあり、23名の参加者は、とても熱心に取り組み、当消防署職員から厳しい指導を受けながらも、一日消防士として職務を全うしました。その指導のなかには笑いあり、涙ありでした。また、汗をかきながら楽しんで消防という仕事を理解していくなかで、防災防火がいかに大切であるのか、また、リーダーの存在や協力することがいかに大切かを肌で感じ、たくましい一日消防士となりました。

防災防火意識を高めていただく当初の目標も達成することができ、来年度も続けていきたいと思います。また、参加者達が職場や家庭でリーダーとして、有事の際には率先して活躍していただけことを期待しています。



【放水訓練の様子】



【救助訓練の様子】

◆ 消防フェアを開催

足利市消防本部（栃木）

足利市消防本部では、平成28年9月25日（日）、アシコタウンあしかがにおいて、市民を対象に毎年恒例となっている消防フェアを開催しました。

市民の防災意識の向上や消防行政への理解を深めることを目的として、ロープ渡過、消火、応急手当や防火衣装着の体験や、住宅用火災警報器の設置PR等も行いました。

当日は消防職員だけでなく、足利市防火協会や足利市女性防火クラブ連絡協議会の会員が参加したほか、足利市消防団による団員の入団促進PRも行いました。

また、消太くんとの記念撮影では、たくさん子ども達が楽しそうに写真を撮るなど、3時間のイベントで約3,700人が来場しました。

足利市消防本部では、これらのイベントを通じて市民とのコミュニケーションを図りつつ、「安全・安心」な街づくりを目指しています。



【フェアの様子】

訓練・演習

◆ 高齢者福祉施設との合同訓練を実施

北はりま消防本部（兵庫）

北はりま消防組合多可消防署では、平成28年9月8日（木）、救急の日及び救急医療週間中の事業として、高齢者福祉施設における救急意識の高揚と消防機関との連携強化並びに救急需要対策、傷病者の救命率及びQOL（生活の質）の向上を目的に、老人福祉施設と合同で救急訓練を実施しました。

施設職員が心肺停止状態の施設入居者を発見したという想定で、施設職員による観察・処置・通報等の初動訓練と救急隊による観察・処置及び施設職員との連携訓練を行いました。

訓練終了後には意見交換会を行い、施設側と消防側から意見を出し合い、円滑な救急活動が実施できるよう諸課題を検討しました。

訓練や意見交換を通じて、普段、顔を合わせて話し合う機会が少ない施設職員との「顔の見える関係」を構築することができ、大変有意義な訓練になりました。



【連携訓練の様子】



【意見交換会の様子】

◆ 消防・警察合同水難救助訓練を実施

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、平成28年9月13日（火）から15日（木）まで、市内の公共運動施設内屋外プールにおいて、突発的かつ局地的な豪雨や本格的な台風襲来時期に備え、増水河川等における救助事象に迅速、的確な対応を図るため、藤沢市北消防署と藤沢北警察署による合同訓練を実施しました。

訓練では、冠水した道路の歩き方や河川等へ転落した人の救出法などを行いました。管轄区域を共有する消防と警察が互いに顔の見える関係を構築することにより、連携強化を図ることができました。

今後も機会を捉え訓練を実施し、あらゆる災害に備え、協力して市民生活の安全安心に努めて参ります。



【スローバック取扱訓練の様子】



【警杖を使用した救出訓練の様子】

◆ 中部電力株式会社との合同訓練を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局緑消防署では、平成28年9月13日（火）及び14日（水）、電気災害時に安全かつ迅速に活動できるよう、中部電力株式会社と合同訓練を実施しました。

中部電力職員による電気災害対応要領や変電所火災に対する消火活動方法、留意事項などの講習を受けた後、実際に15mの鉄塔を登り、高所での活動の難しさを体感しました。

電気災害に出動する機会が少ないことから、今回、変電所内の設備を実際に確認でき、また、これまで実際に発生した火災や救助事案などについて意見交換ができたことは、とても貴重な経験になりました。

変電設備での災害は市民生活に直結しています。円滑で安全な活動を行うためには、中部電力株式会社との密な連絡体制による連携活動が必須です。そのため、今後も合同訓練を実施し、連携強化や専門知識、技術の習得に努めていきたいと思います。



【講習及び訓練の様子】

◆ 第37回初期消火競技大会を開催

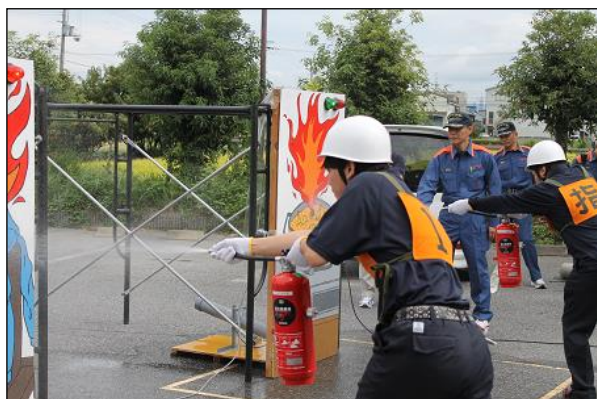
東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合消防本部では、平成28年9月15日（木）、八日市消防署において東近江防火保安協会八日市支部との共催で第37回初期消火競技大会を開催しました。

この大会は、初期消火技術を身に付けるとともに防火意識の高揚を図り、職場や地域における自主防災体制を確立することにより、火災のない明るい社会を築くことを目的として、毎年開催しているものです。

競技は、「消火器操法の部（1チーム2名）」と「屋内消火栓操法の部（1チーム3名）」があり、消火器や屋内消火栓設備の正確な取り扱い、安全性及び消火完了までの時間を競うもので、管轄する地域から17事業所30チーム69名が参加され、日頃積み重ねた訓練の成果を発揮されました。

競技終了後に行った当行政組合消防音楽隊による演奏も好評で、初期消火技術の習熟だけでなく消防業務への理解と防火、防災意識の高揚を図る良い機会となりました。



【消火器操法の部の様子】



【屋内消火栓操法の部の様子】

◆ 平成28年度練馬区内消防団合同点検を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁石神井消防署では、平成28年9月17日（土）、都立石神井公園B地区野球場において「平成28年度練馬区内消防団合同点検」を実施しました。

消防団合同点検は、消防団員が平素行っている各種教育・訓練の成果を点検し、消防団の災害対応能力及び士気を確認する場であるとともに、地域の皆様に消防団の活動を積極的に紹介し、消防団への理解を一層深めていただくことを目的として実施するものです。

当日は、前川練馬区長を始め、多くの来賓の方々が見守るなか、石神井消防団、練馬消防及び光が丘消防団の団員、計719名が高橋消防総監の部隊検閲を受け、その後、震災発生を想定した災害活動訓練を実施しました。この訓練には、NPO法人日本救助犬協会や東京消防庁災害時支援ボランティア、石神井消防少年団、さらには近隣町会も参加し、消防団の日頃の訓練成果を披露すると同時に、地域や団体との連携の重要性を感じさせるものとなりました。



【合同点検の様子】



【訓練の様子】

◆ 群馬DMA Tチーム合同野営訓練を実施

渋川広域消防本部（群馬）

渋川広域消防本部では、平成28年9月21日（水）から9月22日（木）にかけて、群馬DMA Tチーム（渋川医療センター、利根中央病院、群馬大学医学部附属病院、済生会前橋病院）と合同による緊急消防援助隊等災害派遣に対応するため、合同野営訓練を県内で初めて実施しました。

この訓練は、「緊急消防援助隊運用要綱の改正について」（平成26年3月26日消防広第76号消防庁国民保護・防災部広域応援室長通知）により新設された関係機関との連携強化を目的に、出動訓練から狭隘空間救出救護訓練、野営訓練など各種災害対応能力の向上を図るとともに、他職種間の得意性を理解する上で大変有意義な訓練となりました。



【活動訓練の様子】



【集合写真】

◆ 水難事故救助訓練を実施

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、平成28年9月26日（月）、管内を流れる飛騨川及びその周辺において、要救助者を迅速かつ安全に救出・救護することを目的に、水難事故救助訓練を行いました。

訓練は、橋脚にボートが衝突し要救助者がいるとの想定により、水難救助隊、救助隊、救急隊など職員35名が参加しました。

今回の訓練では、救助隊に新たに導入した水難軽装備と呼ばれる水中ゴーグル、シュノーケル、フィン等を装備し、漂流した要救助者を救助する訓練を実施しました。

今後、水難軽装備を配備したことにより水難事故での活動範囲が広がり、迅速な救助活動が期待されます。



【訓練の様子】

◆ 警防技術指導会本部大会を実施

枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、平成28年9月28日（水）、枚方東消防署において、警防技術指導会本部大会を実施しました。

この大会は、当消防本部内3署3部で実施した署長効果確認訓練において、安全管理を重視した活動内容などで高評価を得てそれぞれの代表となった9消防小隊が出場し、「防火造2階建て一般住宅の2階1室より出火、10㎡燃焼中で2階ベランダに要救助者1名あり。」の想定で実施しました。

市民、組合議員、消防関係者など多くの人が見守るなか、出場した隊員たちは訓練成果を発揮し、熱気あふれる素晴らしい活動を展開しました。



【大会の様子】

研 修 等

◆ 平成28年度救急研修会を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、平成28年9月13日（火）、当消防本部の屋内訓練場において、前橋赤十字病院高度救命救急センター長の中村 光伸氏を講師に招き「高速道路におけるバス事故災害への対応について」と題して研修会を開催しました。

研修会には約50人の職員が参加し、高速道路等でバス事故災害発生時の現場での対応方法、トリアージ、そして関係機関の情報共有の重要性について画像等を交えて分かりやすくご教示いただき、大変貴重な機会となりました。



【研修会の様子】

◆ ハイブリッド車等事故発生時対応講習会を開催

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局所沢中央消防署では、平成28年9月17日（土）、職員を対象とした「ハイブリッド車等事故発生時対応講習会」を開催しました。

この講習会は、交通事故等でハイブリッド車から乗員の救助等が必要となった場合に、消防職員が走行用モーターに使用されている高電圧バッテリーによる二次災害にあわず、安全かつ迅速に救助活動ができることを目的として、埼玉トヨタ自動車株式会社に協力をいただき開催しました。

車両概要の講義後、実車確認をしながら消防活動上の注意事項等を把握するとともに、水素と酸素を反応させて電気をつくる次世代燃料電池自動車についても実技講習を実施しました。

今後も、他社のハイブリッド車等についても定期的に講習会を開催し、隊員の安全確保と迅速な現場活動ができるように備えていきます。



【講習会の様子】

◆ 鉄道事故に関する研修会を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局^{しょうなん}沼南消防署では、平成28年9月20日（火）、東武鉄道株式会社から講師を招き、鉄道事故に関する研修会を実施しました。

研修会では、各種鉄道車両の構造、事故発生時の初動対応要領、ジャッキアップ等救助活動を行う上での注意点の説明を受け、鉄道事故救助活動時に必要な知識の習熟を図ることができました。



【研修会の様子】

その他

◆ 山岳救助隊を発足

上益城消防組合消防本部（熊本）

上益城消防組合消防本部では、平成28年9月13日（火）、当消防本部の訓練場において、山岳救助隊の発隊式を執り行いました。

県内の消防本部では、阿蘇広域行政事務組合消防本部に次いで2隊目の発足となり、管内の九州山脈等での山岳救助に当たります。今春に設置の予定が熊本地震により遅れましたが、秋の登山シーズンに間に合わせる事ができました。

当日は、訓練塔を使用した想定訓練を実施し、これまでの訓練の成果を披露しました。



【発隊式の様子】



【訓練披露の様子】

◆ 「鑑識・鑑定室」の運用を開始 ～鑑識・鑑定機器を活用し、科学的な立証を！～

奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部では、火災原因調査で活用するための「鑑識・鑑定室」が完成し、平成28年10月5日（水）より運用を開始しました。

同室には、マイクロフォーカスX線透視装置・フーリエ変換赤外分光光度計・デジタルマイクロスコープなどの精密機器、超音波カッター、分解工具などが備えられています。また、スムーズな写真撮影を行うために回転台、明示などをする専用ブースも常設しました。

ここでは、製造者及び関係者との合同鑑識・鑑定調査に望み、科学的に火災の原因を立証・究明していき、組織の鑑識・鑑定技術と知識を向上させていきます。



【鑑識・鑑定室の様子】

通 知 等

◆ 平成28年秋季全国火災予防運動の実施について（9月28日、消防予第295号）

消防庁長官より、各都道府県知事、各指定都市市長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

本年の秋季全国火災予防運動については、平成28年11月9日から15日までの7日間にわたり、別添「平成28年秋季全国火災予防運動実施要綱」（省略）に基づき、実施することといたします。

貴職におかれましては、本運動及び関連行事への住民の積極的な参加を促し、火災及び災害に強いまちづくりの継続的な推進のため、特段の御配慮をお願いいたします。

また、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても周知していただきますようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2809/pdf/280928_yo295.pdf）に掲載されています。

◆ 平成28年秋季全国火災予防運動の実施について（9月28日、消防予第296号）

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

平成28年秋季全国火災予防運動については、平成28年9月28日付け消防予第295号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に掲げる推進項目等の実施にあたり参考になると考えられる事項を、別添1「平成28年秋季全国火災予防運動実施要綱について」（省略）のとおりとりまとめましたので送付します。

なお、前回実施した平成28年春季全国火災予防運動期間中における行事等の実施結果については、「平成28年春季全国火災予防運動の実施結果について」（平成28年8月3日付け事務連絡）のとおりですので、これらを参考としながら各地域の実情に応じた運動の実施について検討いただくとともに、今回の実施結果について、別添2（省略）により報告いただきますようお願いいたします。

また、本運動の広報用ツールとして、「火災予防広報用映像の制作・送付について」（平成28年3月30日付け事務連絡）により全国火災予防運動に関する広報用映像を配布していますので、活用するようお願いいたします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の各市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知していただきますようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2809/pdf/280928_yo296.pdf）に掲載されています。

報道発表

◆ 「119番通報の多様化に関する検討会」の開催（10月5日、消防庁）

聴覚・言語機能障がい者等に対応した119番通報について、いつでも全国どこからでも、音声によらない通報ができるシステムの技術的条件仕様等の検討を行い、そのシステムを確立することにより、聴覚・言語機能障がい者等の安心・安全及び利便性の一層の向上を図ることを目的として、平成27年度に引き続き「119番通報の多様化に関する検討会（以下「検討会」という）」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日時
平成28年10月12日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 場所
都道府県会館 4階410会議室（東京都千代田区平河町2-6-3）
- 3 委員
別添（省略）のとおり
- 4 主な検討項目
 - (1) 事前登録情報の保管先
 - (2) 利用申請方法
 - (3) 契約形態
- 5 傍聴又は取材に当たっての留意事項
 - (1) 傍聴又は取材を希望される場合は、社名、氏名及び連絡先を平成28年10月11日（火）15時までに電話又はファックスにより下記連絡先まで連絡願います。
 - (2) 入室は当日の13時15分からとします。また、カメラ撮影等は検討会冒頭のみに限らせていただきますので、あらかじめ御了承ください。
 - (3) 会場の都合上、希望者多数となった場合は入場をお断りさせていただく場合がございます。

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/10/281005_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課防災情報室
担当：阿部課長補佐、塚狭係長

◆ 「第25回全国消防操法大会」の開催（10月6日、消防庁）

全国の消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図るとともに、消防活動の充実発展に寄与することを目的とし、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う全国消防操法大会を長野県で開催します。全国消防操法大会は、昭和43年の第1回大会以降、2年ごとに開催しており、今大会で25回目となります。

- 1 開催日時及び場所
日時：平成28年10月14日（金） 雨天決行
9時00分～16時30分（予定）
場所：南長野運動公園（オリンピックスタジアム）
（長野県長野市篠ノ井東福寺320番地）
- 2 内容（別添1（省略）参照）
 - (1) 開会式
 - (2) 消防操法
 - (3) アトラクション
 - (4) 表彰式
 - (5) 閉会式

- 3 出場消防団（別添2（省略）参照）
46都道府県の代表として47隊（ポンプ車の部25隊、小型ポンプの部22隊）が出場します。（開催地である長野県については、2隊出場）
※熊本県は、熊本地震の被害のため出場辞退。
- 4 参加人員
約10,000名
- 5 主催及び協力
主催：消防庁、（公財）日本消防協会
協力：長野県、長野市、（公財）長野県消防協会、長野県消防長会
- 全文は、消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/10/281006_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部地域防災室消防団係
担当：伊勢村消防団専門官、山下係長、富川事務官

◆ 第27回危険業務従事者叙勲（消防関係）

第27回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、647名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章	301名
瑞宝単光章	346名
計	647名

（受章者名等は、別添（省略）の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成28年11月3日（木）

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

○ 伝達式日程

- 1 日 時 1回目 11月9日（水）14時00分～14時25分
2回目 11月10日（木）14時00分～14時25分
- 2 場 所 合同庁舎第二号館（総務省）地下2階講堂
東京都千代田区霞が関2丁目1番2号
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、消防庁審議官、消防大学校長、消防研究センター所長、全国消防長会会長、都道府県消防防災・危機管理部局長会会長
（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/10/281008_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】

総務課
担当：篠宮政策評価広報官、高橋係長

◆ 東京消防庁における平成29年度受託研修に関するお知らせについて

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、各消防本部の希望職員を対象とし、受託研修を実施しています。

これまでの実績で、要望の多い「高度救助技術」及び「火災調査技術」の平成28年度実施の受託研修について、下記のとおり実施することとしましたのでお知らせします。

なお、多数の消防本部職員が受託研修に参加できるよう、各消防本部努めて1名の申し込みでお願いします。

＜申込受付期間＞

平成28年11月1日（火）から平成28年11月15日（火）まで

＜申込方法＞

任意様式にて、希望研修名・対象研修生・希望する研修内容（具体的な研修内容等）・研修を希望する理由・担当者連絡先を明記し、申込期間中に jinjika4@tfd.metro.tokyo.jp へメール送信してください。

なお、申し込み多数の場合は選考させていただきますが、高度救助技術研修については、特別救助隊（消防署）における訓練をご案内させていただく場合があります。

研修決定本部には、電話による決定連絡後、当庁所定の様式により正式申請をして戴きます。

＜対象となる研修、標準期間、実施時期＞

研修名	期間	対象者	実施時期	受入人数
高度救助技術研修 （消防救助機動部隊 における訓練）	2日勤	救助業務に専従し、各消防本部の指導的な立場、または今後指導的な立場になる者で、研修内容を業務に反映する意欲のある者	平成29年 4月から平成 30年3月ま での間で当庁 が指定する期 間	各消防本部 1名
火災調査技術研修 （火災現場における 調査実習等）	5日勤	火災調査に関して各消防本部の指導的な立場、または今後指導的な立場になる者で、研修内容を業務に反映する意欲のある者 ※火災調査初心者向けの研修ではありません。		

【問い合わせ先】

東京消防庁 人事部人事課試験研修係

担当：本島、松本

電話 03-3212-2111 内線 3146

◆ 平成28年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内

危険物保安技術協会

昭和52年（1977年）の消防法改正により、特定屋外タンク貯蔵所の基準が大幅に整備され、開放点検等が義務付けられ39年が経過しました。この間、地震災害や腐食、劣化等により火災、爆発、流出事故等が何度となく発生し、これらの事故を教訓に基準の見直し及び安全対策の整備が行われてきました。

また、高度経済成長期に建設された高速道路、トンネル、橋梁等の社会インフラの老朽化が社会問題となり、屋外タンク貯蔵所の老朽化も例外とは言えない状況にあります。さらにソフト面での諸問題も顕著となり、保安の確保や技術の伝承が重要な課題となっております。技術基準の重要性と安全を見据えた維持管理のあり方に焦点を当て、正しい理解と適切な審査等に関する知識・技術の習得を目的とし、安全対策の一助となるよう、本講習会を開催いたします。

屋外タンク貯蔵所の設計、施工、検査及び維持管理等に携わる業務関係者をはじめ幅広い関係の方々に、是非本講習会に参加していただきますようご案内申し上げます。

1 主催

危険物保安技術協会

2 協賛

全国消防長会、石油連盟、石油化学工業協会、日本非破壊検査工業会

3 開催日時及び場所等

(1) 札幌会場

ア 日 時：平成28年11月11日（金）10:00～16:50

イ 場 所：北海道自治労会館（3F 中ホール）（TEL：011-747-1457）
札幌市北区北6条西7丁目

(2) 大阪会場

ア 日 時：平成28年11月18日（金）10:00～16:50

イ 場 所：大阪科学技術センター（8F 大ホール）（TEL：06-6443-5324）
大阪市西区靱本町1丁目8番4号

(3) 北九州会場

ア 日 時：平成28年11月25日（金）10:00～16:50

イ 場 所：TKP小倉シティーセンター（コクラホール）（TEL：092-474-3080）
北九州市小倉北区馬借1-8-9 クエスト第二ビル6階

(4) 東京会場

ア 日 時：平成28年12月2日（金）10:00～16:50

イ 場 所：科学技術館サイエンスホール（TEL：03-3212-8485）
千代田区北の丸公園2番1号 科学技術館内

4 受講対象者

主に、屋外タンク貯蔵所を保有する事業所、タンクメーカー、非破壊検査会社及び消防機関等の屋外タンク貯蔵所に係わる業務に携わる方を対象としていますが、特に限定はいたしません。

5 受講料

15,120円（危険物総合情報システム登録者（有料利用）は、割引料金）

*テキスト代・消費税を含む。

6 開催プログラム

時 間	内 容	講 師
9:30～10:00	受 付	
10:05～16:50	(1) 屋外貯蔵タンクの技術基準の概要	危険物保安技術協会 タンク審査部
	(2) 屋外貯蔵タンクの基礎・地盤の概要と維持 管理の留意事項について	危険物保安技術協会 土木審査部
	(3) 屋外貯蔵タンク本体の変更許可申請に係 る留意事項（設計）	危険物保安技術協会 タンク審査部
	(4) 屋外貯蔵タンク本体の変更許可申請に係 る留意事項（品質管理）	
	(5) 屋外貯蔵タンクの老朽化の実態と維持管 理のあり方	

7 受講手続き

(1) 申し込み

ア 当協会ホームページ (<http://www.khk-syoubou.or.jp/>) を開き、「屋外タンク実務担当者講習会」にアクセスして、インターネットによりお申し込み下さい。

また、申請書をダウンロードし、FAXによるお申込みも可能です。

イ 各会場とも、講習会開催日の3日前までにお申し込み下さい。

(2) 問い合わせ先

申し込み手続き等不明な点につきましては、下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 1 階
危険物保安技術協会 屋外タンク実務担当者講習会事務局
TEL : 03-3436-2357 FAX : 03-3436-2254 担当：陣内、葛窪、畑田

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp